

平成 26 年度 紀の川流域懇談会 議事骨子

日 時 : 平成 27 年 2 月 10 日 (火)

場 所 : 和歌山県民文化会館 3 階 特設会議室

★ 議事次第

1. 開会
2. あいさつ (近畿地方整備局 河川保全管理官)
3. 本日の議事について (和歌山河川国道事務所長)
4. 議事
 - 4-1. 河川整備計画の進捗点検について
 - 4-2. 平成 25 年、26 年の出水概要について
 - 4-3. 工事状況等について
5. その他
 - 5-1. 紀の川流域懇談会規約
 - 5-2. 紀の川流域懇談会情報公開方法
6. あいさつ (紀の川ダム統合管理事務所長)
7. 閉会

★ 議事内容

1. 河川整備計画の進捗点検について (資料-1)

河川管理者が実施した点検結果の報告をしましたところ、出席委員より下記のような意見が出されました。

- ・ (P20 環境⑤)

紀の川の水質データは何地点ぐらいで出されているのか。また、具体的なデータはどうなっているのか。紀の川の水質データは、他の和歌山県内の河川に比べて、栄養塩や窒素、リンが非常に高い部類に入っているのが気にしている。

→ 水質監視は、環境基準点である大川橋、恋野橋、藤崎頭首工、船戸で行っています。また、測定データはいつでも公表できるのですが、データが膨大であり今回はこのような(略式の)表現としています。別途ご報告させていただきます。

- ・ (P19 環境④)

外来種の魚類の個体数変化については、具体的にはどの辺りで調べたデータなのか。

→ 水辺の国勢調査における調査結果であり、別途ご報告させていただきます。

・ (P20 環境⑤)

環境⑤の個票で水質事故について触れられているが、水質事故は実際にあったのか。

→ 油漏れがあつて河川に流出したという事故が2件ありました。

・ (P22 管理①)

堤防、護岸の維持管理の項目に関して、損傷箇所数は毎年増えているのに対し補修箇所数は一定のままに見える。実際には手当てはしているとは思いますが、関係性がわかりにくいので、煩雑になることはわかっているが、その関係性がわかるような整理をした方がよい。

→ ご指摘のとおり時系列的な流れがわかりにくいことから今のようなグラフにしていますが、少し配慮してグラフの示し方の工夫を考えたいと思います。

・ (P17 環境②)

シオマネキとハクセンシオマネキの確認数の経年変化を見ると、平成23年と24年がかなり低くなっているが、平成25年には両方とも一挙に個体数がかなり増えている。この原因について何か心当たりはないか。

→ 原因は特定できませんが、平成23、24年には大きな出水があつてその影響で個体数が減つたのではないかと考えています。

干潟の環境は出水の有無で大きく変わってくるので、土砂の堆積や出水量等のデータで比べられたら対策や工夫は考えられるかも知れない。

→ 出水については、毎年のもではありませんが今回の資料-2(出水報告)に付けています。この辺りについては、関係性を観点に入れながら今後整理していきます。

・ (P20、21 環境⑤、⑥)

水質調査や水質事故に関する情報交換は、「後追い」のような気がする。その前の段階でやる方がいいのではないか。そのような啓発活動はどのようになっているのか。

→ 現在のところ、水質に特化した啓発活動というものは行っていませんが、環境に関する出前講座を行ったり、広報館もあり、そのような機会や場所で啓発は行っています。

子どもたちが毎年水質調査をしているのは大変いい取り組みであると思う。このような取り組みを重ねて行けば、子どもたちを当事者として育てていくことができるし、そのような活動を通じて、市民にも当事者意識を育てることができる。

→ ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

・ 全般

データを整理する際にもう少し要素ごとに分離するとか、河川の特異性を考慮したような表現の仕方を考えて頂きたい。

2. 平成 25 年、26 年の出水について（資料－ 2）

河川管理者が平成 25 年、26 年の出水の概要について報告をしましたところ、出席委員より下記のような意見が出されました。

・（資料-2 P4、P15）

はん濫危険水位やはん濫注意水位と、住民に対する避難勧告や避難指示の関係はどうなっているのか。

→ 河川管理者は、はん濫危険水位等を超過したという事実を自治体に情報提供することになります。それを受けて、避難勧告や避難指示を判断するのは各自治体となります。

今回の出水では、自治体は避難勧告や避難指示は出していないのか。

→ 自治体の判断で、避難勧告は出されています。

3. 工事状況について（資料－ 3）

河川管理者が平成 26 年の工事状況について報告をしましたところ、出席委員からは特に意見は出されませんでした。

以 上